

報道機関各位

2012年10月31日

アルツハイマー病治療薬（ β -セクレターゼ阻害剤）の開発候補品の導出および共同研究に関する Janssen Pharmaceuticals 社とのライセンス契約締結について

塩野義製薬株式会社（本社：大阪府中央区、代表取締役社長：手代木 功、以下「塩野義製薬」）は、このたび、 β サイト切断酵素（以下「 β -セクレターゼ」）阻害を作用機序とするアルツハイマー病治療薬の開発候補品の導出と共同研究に関する契約を Janssen Pharmaceuticals, Inc.（本社：米国ニュージャージー州、以下「Janssen 社」）との間で締結しましたので、お知らせ致します。

今回の契約締結により、塩野義製薬の研究プロジェクトから創製され、現在臨床試験の準備段階にある開発候補品を Janssen 社に導出致します。本開発候補品は、アルツハイマー病症状の進行抑制が期待される新規の作用機序を有しています。また、同候補品のバックアップ化合物として、Janssen 社と β -セクレターゼ阻害作用を有する低分子化合物の創製に関する共同研究を行い、開発候補品の選定後は、両社で合意した開発計画にしたがい Janssen 社が開発を実施します。本契約は、導出品を含め、当社の研究開発プロジェクトから創製された化合物に基づくものであることから、当社は、Janssen 社より契約の締結に伴う一時金を受け取るとともに、今後の開発進展や承認取得などに応じたマイルストーンを受け取ります。また、製品上市後は、本契約に基づき、原則として Janssen 社が各地域における販売を独占的に行い、販売額に応じたロイヤリティを当社に支払います。なお、塩野義製薬は、日本および米国を含む一部の国において、該当製品を共同販売または共同プロモーションする権利を留保しています。

アルツハイマー病は、現在、多くの認知症患者の方々の日常生活に影響を与える主な原因と考えられ、さらに今後の高齢化社会に向けて全世界で患者数が増加することが予想されています。塩野義製薬は、アルツハイマー病を含む中枢神経系疾患の治療において、研究開発ならびに販売に関する豊富な実績と高い専門性をもつ Janssen 社との提携を通じ、同疾患に苦しむ方々とそのご家族により良い薬を一日でも早くお届けできるよう、努めてまいります。

塩野義製薬は、「常に人々の健康を守るために必要な最もよい薬を提供する」という基本方針のグローバル化を目指し、研究開発、製造、販売、情報提供活動に取り組んでおります。今後もアライアンスを含めたグローバル展開を積極的に進め、日本のみならず世界の患者さまに対してより一層の貢献ができるよう、努力してまいります。

以 上

【ご参考】**アルツハイマー病と β -セクレターゼ阻害剤について**

アルツハイマー病とは、アミロイド β 蛋白と呼ばれる線維状の異常な蛋白が脳全般に蓄積するために、脳の神経細胞が変性・脱落する病気とされ、そのために、脳の萎縮が進行し、認知症の症状を示すと考えられています。1906年にドイツのアロイス・アルツハイマー博士が最初の症例を報告して以来、多くの患者様を苦しめている疾患ですが、症状の改善だけでなく、病態の進行を抑制する原因療法型の医薬品はいまだ上市されていません。 β -セクレターゼ阻害剤は、アミロイド前駆体蛋白のN末端側を切断する β -セクレターゼを阻害することでアミロイド β 線維の総量を低下させる効果を持ち、アルツハイマー病の原因療法となることが期待されています。

【お問合せ先】

塩野義製薬株式会社 広報部

大阪 TEL : 06-6209-7885 FAX : 06-6229-9596

東京 TEL : 03-3406-8164 FAX : 03-3406-8099